劉一水　彭城仁左衞門祖　陳潛明　西村七兵衞祖
何毓楚　何仁右衞門祖　劉焜臺　彭城久兵衞祖
愈惟和　河間八平次祖　魏之琰　鈴鹿淸兵衞祖
樊玉環　高尾兵左衞門祖　馬榮宇　中山太左衞門祖
徐敬雲　東海德右衞門祖　陸一官　陸一藏祖
王心渠　王喜右衞門祖　陳燮山　矢島專助祖
盧君玉　盧草拙祖　何海庵　何吉郎右衞門祖
張三峯　淸川榮左衞門祖　周辰官　周權左衞門祖
薛性由　薛市左衞門祖　鄭崇明　吉嶋總左衞門祖
楊一官　楊藤平祖　吳宗園　吳平左衞門祖
陳九官　陳彌吉祖　鄭次官　鄭長左衞門祖
薛八官　薛久三郎祖　莊七官　莊甚兵衞祖
陳一官　穎川八郎太祖　蔡三官　蔡長次郎祖
曾二官　井手武兵衞祖　吳泰官　吳兵藏祖
黃二官　黃安右衞門祖

剃髮稱苗字

〔南留別志〕一入道したるものゝ、姓氏を名のる事はなき事なり、入道は僧なるゆゑ、官も僧官なり、國初の頃までは、醫師の苗字をのぞきたるなり、寛永の頃より、苗字をいひいで、元祿の頃よりは、院號も苗字をつけて名のる、大かたは玄關につめたる、文盲男に問ひつめられたるより、名乘初めたるなるべし、

〔南留別志拾遺〕一入道したるものゝ、姓氏を名のる事はなき事なり、○中略